

パブリック・サービス研究分科会 6月 「図書館力」研究グループ報告書	
日時	2011年6月23日(木)
場所	昭和女子大学
記録	池上(東洋英和女学院大学)
参加者	阿部(早稲田大学)、池上(東洋英和女学院大学)、市川(法政大学)、菅原(中央大学)、武藤(中央学院大学)

作業内容

①7月例会(7/21)準備

千葉大に都合を聞く…阿部

千葉大からの回答次第で、神田外語大に見学申し込みをする…武藤

千葉大のアカデミック・リンクは教員が中心の様子。図書館としてどう関わっていただけるか。ネット上で当日の様子を視聴することが可能。資料もHPに掲載されている。

②研究を進めるうえでの疑問点

- ・学習支援は何をメインにしていくか?
- ・何をもってコモンズ等の効果が出たとするのか?
- ・日本および海外の大学については、事例を挙げるだけで良いか?

③仮アウトライン担当

問題提起・・・池上

大学の置かれている状況、学生の学習傾向

↓

日本の大学・・・阿部、市川

例：早稲田大学、法政大学、神田外語大、千葉大(全て外部にライティングセンターがある。)

↓

海外の大学・・・菅原、武藤

例：ワシントン大学

④神田外語大で聞くこと、見ること

- ・ハード面(施設)
- ・ソフト面(人的援助)
- ・学内連携について
- ・ミッションステートメント
- ・効果(ミッションとの連動、利用者アンケート等あれば。)

次回までの課題

仮アウトラインの執筆を各自進める。(合宿時に持ち寄る。)

(以上)